



ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和7年12月19日
北海道開発局

北海道からインフラDX大賞の優秀賞を3団体が受賞！

～令和7年度インフラDX大賞の受賞者33団体が発表されました！～

12月17日付で、国土交通本省において、「インフラDX大賞」の受賞者決定について発表がありました。なお、北海道では工事・業務部門で「株式会社砂子組」、地方公共団体等の取組部門で「北海道札幌市」、i-Construction・インフラDX推進コンソーシアム会員の取組部門で「植村建設株式会社」が優秀賞を受賞し、後日授与式が予定されております。

■受賞者と取組概要

【優秀賞 工事・業務部門】

株式会社砂子組 道央圏連絡道路 長沼町 南長沼ランプ改良工事

【取組概要】

- 同社において近隣で4つの同種工事を並列的に施工しており、現場間における労働力・建設機械や施工工程等の情報共有を行い、ICT施工Stage IIを導入。

【優秀賞 地方公共団体等の取組部門】

北海道札幌市 都市型土木工事におけるICT施工普及の取組～First Step SAPPORO型～

【取組概要】

- 複数のICT工種を組み合わせパッケージ化した、本市独自型式「First Step SAPPORO型」を策定し本格運用を開始。具体的な手順や留意点をまとめた施工マニュアルの整備や受注者向けICT研修の開催といった企業へのサポートも実施。

【優秀賞 i-Construction・インフラDX推進コンソーシアム会員の取組部門】

植村建設株式会社 3DMCバックホウ遠隔操縦導入と普及促進

【取組概要】

- 3DMCバックホウへ後付け遠隔操縦を実装した。携帯網と衛星通信を併用し、場所を問わない施工を実現した。自社で整備した実証実験場「UNICON FIELD」で学習や体験・インターン受入を通じ普及を展開。自治体と災害協定を締結し、深刻な人手不足と災害対応力低下を背景に、地域の担い手確保・安心に寄与する。

※国土交通省「インフラDX大賞」の受賞者及び受賞者の取組概要の詳細については、国土交通本省のホームページに掲載されています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001273.html

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

事業振興部技術管理課 技術管理企画官 神馬 強志（内線 5483）

技術調査専門官 松本 博昭（内線 5654）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

